



黙示録の希望

終末を生きる

岡山英雄 著

戦争、自然災害、金融危機……。私たちはこの揺らぐ世界で、何に希望をおき、どう生きるべきなのか。その答えは聖書の最後の書・ヨハネの黙示録にある。長きにわたり研究を続けてきた著者が黙示録全体を解説しつつ、現代における希望の光を指し示す。

B6判 320頁 定価2,420円(本体2,200円+税)
ISBN978-4-264-04509-0 C0016
いのちのことば社 卸コード 05450

岡山英雄 (おかやま・ひでお)

1954年大阪に生まれる。東京大学文学部、聖書神学舎卒業後、東京、神戸で牧会。米国、ゴードン・コンウェル神学校、英国、セント・アンドリュース大学で黙示録を研究。哲学博士。現在、日本福音キリスト教会連合・東松山福音教会牧師。埼玉県在住。著書に『小羊の王国——黙示録は終末について何を語っているのか』『天国と極楽——キリスト教と仏教の死生観』、『キリスト者の戦争論』(共著)、『ヨハネの黙示録注解——恵みがすべてに』など、訳書に『ヨハネの黙示録』『ローマ人への手紙』(ティンデル聖書注解シリーズ)などがある。